

新たな研究主題について

全国連合小学校長会 調査研究部

1 研究主題の設定について

- 研究協議大会運営規則第3条に「大会の主題は常任理事会で定め、副主題及び趣旨、研究協議題、期日、日程及び会費は、開催県を中心に開催地区において原案を作成し、常任理事会で決定の上、理事会に報告する。」と定められている。
- 平成27年度調査研究活動の8の全連小研究協議会の開催の(3)に「新たな研究主題の検討」と示してある。

2 教育の動向と改定時期等について

- 今年の9月に次の学習指導要領の骨格となる「論点整理」の中で、子どもたち一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を育成していくことや、そのために求められる学校の在り方を不断に探究する文化を形成していくことが重要であると示されている。
- 次の学習指導要領は、平成28年度末に告示がされ、平成30年度より2年間が移行期間となり、平成32年度より完全実施となる。教科としての道徳については、平成30年度に完全実施となる。
- 現在の研究主題に基づき、平成25年度三重大会、平成26年度埼玉大会、平成27年度山口大会と3回の研究大会を開催してきたところである。また、高知大会及び佐賀大会は、現在の研究主題で研究をすすめている状況である。
- 近年、全連小では、社会の動向や学校教育の重要課題に応じて4～7年のサイクルで新たな研究主題を設定してきている。（*1を参照）

3 研究主題の設定時期等

- 次の学習指導要領は平成32年度より完全実施となるので、それに合わせて、新たな研究主題のもと、研究大会を開催する。平成31年度までは、現在の研究主題で研究大会を開催する。
- 研究主題は、次の学習指導要領の告示を踏まえ、平成29年度末に設定し示していく。（*2を参照）

4 今後の見通し

- 平成29年6月～ … 意見募集、検討、提案、協議
- 平成30年1月 常任理事会 … 研究主題決定
- 平成30年1月 大会事前打ち合わせ会にて開催県（近畿地区）に照会
- 平成30年2月 理事会 … 次期研究主題報告

* 1 研究主題の流れ（昭和 54 年度以前省略）

平成 25 年度～	新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す 小学校教育の推進
平成 20 年度～24 年度	新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成を 目指す小学校教育の推進
平成 14 年度～19 年度	新しい時代を拓き、国際社会を主体的に生きる日本人の育成を 目指す小学校教育の推進
平成 7 年度～ 13 年度	新しい時代を創造し、国際社会に貢献する日本人の育成を目指す 小学校教育の推進
平成 2 年度～ 6 年度	2 1 世紀の社会に貢献する日本人の育成を目指す小学校教育 の創造
昭和 59 年度～元年度	2 1 世紀に生きる日本人の育成を目指す小学校教育の創造
昭和 55 年度～58 年度	人間性豊かな児童の育成をめざす教育の創造

* 2 平成 28 年度以降の研究大会開催地

年度	28	29	30	31	32	33	34	35
回	68	69	70	71	72	73	74	75
開催地区	四国	九州	北海道	東北	近畿	東海北陸	中国	関東甲信越
開催地	高知	佐賀	函館	秋田				東京
備考		※ 1			※ 2			記念大会

※ 1 新たな研究主題決定（平成 3 0 年 1 月）

※ 2 新たな研究主題のもと研究大会開催